

令和5年12月 発地別延べ宿泊者数割合

【国内】

(単位：人泊、%)

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和5年12月(速報値)	55,264	95,283	51,565	7,537	20,594	32,155	13,969	62,155	5,433	343,955
令和4年12月(確報値)	56,256	93,561	51,208	7,540	21,363	29,957	14,085	54,890	4,792	333,652
前年同月比	98.2	101.8	100.7	100.0	96.4	107.3	99.2	113.2	113.4	103.1
令和元年12月(確報値)	64,343	90,094	53,436	9,039	27,331	26,894	12,862	50,381	7,763	342,143
令和元年同月比	85.9	105.8	96.5	83.4	75.4	119.6	108.6	123.4	70.0	100.5
令和5年11月(速報値)	44,429	89,697	57,319	8,302	22,090	32,854	18,764	57,699	8,906	340,060
前月比	124.4	106.2	90.0	90.8	93.2	97.9	74.4	107.7	61.0	101.1

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和5年12月(速報値)	55,023	5,494	17,038	12,131	5,723	5,902	4,261	105,572
令和4年12月(確報値)	29,845	767	5,258	3,267	4,320	2,454	1,607	47,518
前年同月比	184.4	716.3	—	371.3	132.5	240.5	265.2	222.2
令和元年12月(確報値)	12,509	7,943	10,058	10,815	3,239	5,617	2,863	53,044
令和元年同月比	439.9	69.2	169.4	112.2	176.7	105.1	148.8	199.0
令和5年11月(速報値)	45,956	5,572	14,566	15,303	4,156	4,496	5,465	95,514
前月比	119.7	98.6	117.0	79.3	137.7	131.3	78.0	110.5

【全体】

	合計
令和5年12月(速報値)	449,527
令和4年12月(速報値)	381,170
前年同月比	117.9
令和元年12月(確報値)	395,187
令和元年同月比	113.8
令和5年11月(速報値)	435,574
前月比	103.2

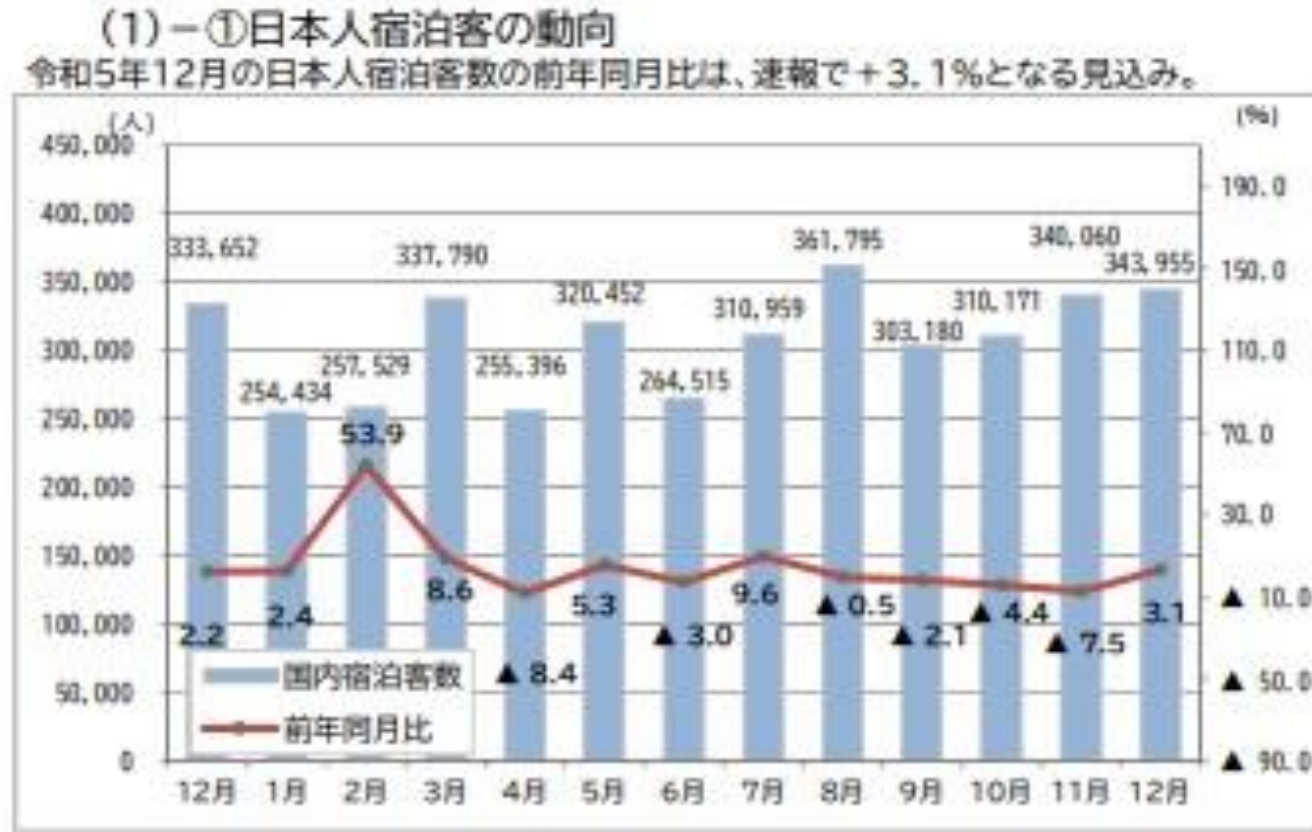
- ①調査対象施設は従業員数10人以上の全施設(189施設 令和5年1月時点)
- ②令和元年の数値については、上記①の施設数をもとに推計しています。
- ③発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊客数は、前月比101.1%、前年同月比103.1%。コロナ禍前の令和元年同月と比較しても100.5%と、関東や近畿・福岡などの都市部を中心に増加となった。
- ・国外の延べ宿泊客数は、前月比110.5%、前年同月比222.2%、コロナ禍前の令和元年同月比も199.0%と引き続き増加傾向が続いている。令和元年は日韓関係悪化の影響で宿泊者の少なかった韓国の伸び率が高いものの、その他の地域も中国以外は令和元年に比べ増加している。
- ・全体の延べ宿泊客数は、前月比103.2%、前年同月比117.9%、コロナ禍前の2019年同月比も113.8%となっている。

令和5年12月の宿泊客等の動向
(令和4年12月確報、令和5年1月～令和5年12月速報)



出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・日本人宿泊客は、令和5年5月から新型コロナウイルスが5類に移行されたことなどから感染症による影響はほとんどなく大きな減少はなく推移している。
- ・外国人宿泊客は、令和4年10月に新型コロナウイルスによる水際対策が大幅に緩和されたことにより急速に回復している。特に令和5年10月以降は更に増加しており、令和5年12月はコロナ禍以降最多となった。
- ・一方有料観光施設の入場客数は、令和5年12月は前月比、前年同月比共にマイナスとなった。
- ・全体においては、入国制限の緩和以降特にインバウンドの回復が顕著であり、コロナによる行動制限がなかったこと等により国内外ともに順調に推移している。